

令和8年(2026年)6月22日

介護老人福祉施設 施設長様  
介護老人保健施設 施設長様

横須賀市民生局福祉こども部介護保険課長

### 介護施設職員研修(モニター研修)の実施について

日頃から、本市の介護保険業務にご理解、ご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、標記の研修を実施いたしますので、業務ご多忙のこととは存じますが、受講を希望される場合は、別紙申込書によりご回答ください。

なお、本研修は事業所指定等において必須の研修ではありません。

講師を施設へ派遣する形式(モニター研修)を予定しており、感染防止対策等を十分に講じたいうえで実施しますが、各施設の皆様におかれましては、無理のない範囲でご検討ください。

また、ご不明な点等ございましたら、末尾記載の担当者までご連絡ください。

### 記

#### 1 目的

介護現場でのコミュニケーション能力の向上を目的としています。

#### 2 研修の概要等

##### (1) 研修の特徴 『スタッフのモチベーション・アップ』と『施設活性化のヒント発見』

現場での実際の対応を直接見聞きした中からスタッフの素晴らしい動きや効果的な連携を具体的にピックアップし、プロの視点からお伝えします。

スタッフ自身が気づいていないような点も現場から抽出することで、日常業務の再確認にもつながります。

あら探しのマイナス指摘型チェックではなく、ハードで多忙な現場のプラス強化の視点からアプローチするものです。その上で、スタッフ間の対応ムラ等のもったいない点があれば、改善に向けたアドバイスなど更なる向上をバックアップします。

##### (2) 期待できる研修効果 『現場スタッフの皆様のやる気・元気へのカンフル剤』

- ①自らの取り組みを外部から認められることで、自信やモチベーションを強化する。
- ②当たり前に行っている日常業務が、安全や安心につながっていることを再認識する。
- ③望ましい状態を維持することが、CS【顧客満足】アップと共に、スタッフ自らの働きやすさになるWIN WINを再認識する。
- ④施設力強化のための視点をスタッフ間で共有する。

### (3) 施設に合わせたアレンジ

事前に講師が直接施設に伺い、施設の現状やモニター当日の動線など確認することで、現場業務にご迷惑おかけしないように実施します。

その際、ご要望も詳しく承り、スタッフの皆様プラスになる研修をめざします。

本研修は介護技術に関する研修ではありません。 施設に研修講師が入り、職員間のコミュニケーションや情報伝達の方法、入所者・家族への接遇など、現場での実際の動きを視察します。その後、各施設の優れている点や、改善点等をアドバイスいたします。

## 3 日 時

(1) 個別に日程調整を行いますので、出席申込書に希望日時をご記入下さい。

(2) 概ね、以下のスケジュールを想定していますが、希望に応じて個別に調整します。

1日目：事前のヒアリング（半日程度）

2日目：モニター研修本番（1日程度）

※2日目の実施時間・内容については、1日目の事前ヒアリングにて調整

## 4 会 場

各施設の現場で実施します。

なお、視察する具体的な場所については、別途相談させていただきます。

## 5 講 師

アクティブK 人材育成コンサルタント 廣山 容子氏

※事前のヒアリングと、モニター研修本番時には市の職員（1～2名）が同行します。

## 6 お申込方法

添付した「申込書」に必要事項を記入し、メール又はFAXにてご回答ください。

## 7 締め切り

令和8年7月24日（金）まで

※受講希望が多数となった場合には、未受講の施設を優先とする等の調整をさせていただきます場合があります。

事務担当は、横須賀市民生局福祉こども部介護保険課

総務係 石川・高木

〒238-8550 横須賀市小川町 11番地

電話046-822-8308 FAX046-827-8845

E-mail [nci-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:nci-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp)